

日蓮大聖人のお言葉

宗祖日蓮大聖人は、「藍草から得た染料の藍は、もとの青色よりも遙かに濃いように、人は皆、気まぐれで心変わりしやすいものであり、同じ法華経を信じているようにみえても、深く信じ、変わる心無くお題目を唱え続けることで、真の利益がそなわり、世の中の人の幸せを祈ることができるようになるでしょう」と、どんな時も信心に退転なくお題目を唱える、法華経への信仰を、指南されています。

青き心とは藍より出でたれども、

重ねぬれば色まさる。

同じ法華経にてはおわすれども、

志を重ねぬれば

他人より色まさり、

利生（利益）もあらざるなり。

（乙未前消息）

株橋日涌上人御染筆「日日の信行訓」より転載



法華宗